

2011年度 サロン2002 総会 議事録

【日 時】2011年5月8日(日) 13:00~15:00

【会 場】筑波大学附属高校3F会議室

【議決成立要件】2011年度会員数(総会時) 148(5/4時点の会費納入者) -3(退会) +24(2011年度新入会) =169名中、出席者数9名、委任状提出者103名、合計112名で、定足数に達した。

参考) 2009年度は141名中、出席15名、欠席連絡かつ委任状提出79名、計94名(欠席連絡は86名)

2010年度は153名中、出席11名、欠席連絡かつ委任状提出85名、計96名(欠席連絡は86名)

総会出欠(2011年5月8日(日) 0時時点)

◆【総会出席者】9名

安藤裕一、奥山純一、金子正彦、笹原勉、中塚義実、本多克己、白井久明、宮明透、武藤豊

◆【総会欠席連絡者】 103名(うち委任状提出は 103名)

赤尾修 秋元大輔 朝倉雅史 浅野智嗣 阿部博一 安部久貴 猪狩翔 伊田翔平 井田征次郎 伊藤慧 井上俊彦 井上俊也
今橋富士夫 上野直彦 牛木素吉郎 宇都宮徹老 梅澤佳子 梅本嗣 大橋二郎 岡村理恵 小幡真一郎 笠野英弘 梶野政志
川井寿裕 河本雅彦 菊地悟 岸卓巨 北原由 久保英明 熊谷建志 小池正通 幸野健一 古賀康彦 國分悠伸 小島裕範
五香純典 権藤誠 三枝敏洋 佐藤いちろう 佐藤清志 佐藤真成 嶋崎雅規 島原裕司 清水論 白井久明 白髭隆幸 鈴木
康司 鈴木崇正 關貴光 高崎康嗣 高田勝敏 高田敏志 高橋義雄 高原涉 高藤順 竹下誠一 辰巳義和 田中俊也 田中
理恵 玉井茂 田村修一 茅野英一 土谷享 徳田仁 豊田幸夫 中川英治 仲澤眞 中曾千鶴子 名方幸彦 中塚頼彦 中村
敬 長岡茂 並木みちこ(宇都宮みちこ) 根本いづみ 半澤隆憲 福西達男 藤田直樹 麓信義 本郷由希 前田博子 松田保
松本行弘 峯山典明 宮川淑人 宮城島清也 宮阪麻耶 武藤太智 村木初年 室田真人 望月浩一郎 持永浩史 本杉亀一
森政憲 森元俊太郎 両角晶仁 安田英文 安松幹展 山内紘子 山下高行 由利英明 横尾智治 吉澤正悟 依藤正次

<委任状提出者(103名)内訳>

- ・中塚義実(含中塚理事長): 61名…赤尾修 朝倉雅史 浅野智嗣 阿部博一 安部久貴 井上俊彦 井上俊也 上野直彦 牛木素吉郎 梅澤佳子 岡村理恵 小幡真一郎 梅本嗣 笠野英弘 川井寿裕 菊地悟 北原由 小池正通 古賀康彦 國分悠伸 小島裕範 五香純典 権藤誠 三枝敏洋 佐藤いちろう 佐藤真成 島原裕司 清水論 鈴木康司 鈴木崇正 關貴光 高田勝敏 高田敏志 高橋義雄 竹下誠一 田中俊也 玉井茂 田村修一 中川英治 仲澤眞 根本いづみ 半澤隆憲 藤田直樹 前田博子 松田保 松本行弘 峯山典明 宮川淑人 村木初年 室田真人 持永浩史 本杉亀一 森政憲 森元俊太郎 両角晶仁 安松幹展 山内紘子 由利英明 横尾智治 吉澤正悟 依藤正次
- ・中塚先生(含中塚さん、中塚様、中塚氏): 17名…猪狩翔 伊田翔平 伊藤慧 宇都宮徹老 幸野健一 佐藤清志 嶋崎雅規 高崎康嗣 豊田幸夫 中曾千鶴子 中村敬 並木みちこ(宇都宮みちこ) 宮城島清也 宮阪麻耶 武藤太智 安田英文 山下高行
- ・理事長(含代表): 9名…秋元大輔 井田征次郎 梶野政志 熊谷建志 高原涉 高藤順 土谷享 徳田仁 安田英文
- ・議長: 12名…大橋二郎 久保英明 白髭隆幸 辰巳義和 田中理恵 茅野英一 名方幸彦 中塚頼彦 長岡茂 福西達男 麓信義 望月浩一郎
- ・会の総意: 1名…岸卓巨 ・本多克己: 1名…本郷由希 ・宮川氏: 1名…河本雅彦
- ・大塚義実: 1名 … 今橋富士夫

◆【フットサル参加者】安藤裕一、奥山純一、金子正彦、笹原勉、白井久明、中塚義実、本多克己
および筑波大学附属高校サッカー部1年生

◆【懇親会出席者】安藤裕一、奥山純一、金子正彦、笹原勉、白井久明、中塚義実、本多克己

◆【5/7の前夜祭出席者】牛木素吉郎、金子正彦、北原由、嶋崎雅樹、白井久明、中塚義実、宮明透、
未会員: 有元健(桐陰横浜大学)、廣瀬立朗(桐陰横浜大学)、山崎一彦(福岡大学)、遠藤貴(代理人)、
国島栄市、

【主な決定事項】

◆2010 年度決算および 2010 年度予算

- ・2010 年度決算承認（「平成 22 年度サロン 2002 収支決算書」参照）
- ・2011 年度予算承認（「平成 23 年度サロン 2002 予算書」参照）

◆2011 年度会員募集について

- ・2010 年 5 月 8 日現在、新規入会 24 名、退会は 3 名。2011 年度会員（候補者）は現時点で、148（2010 年度会員数） $-3+24=169$ 名（2011 年度会費未納者も含む）

参考：2011 年 5 月 4 日時点の“2010 年度”会費未納者＝2010 年度未会員(2011 年度退会確定)10 名

石田まどか、伊藤洋次郎、今泉龍太、北岡真幸、齋藤律、庄田守男、杉沢幹生、藤岡知彦、水上博司、割出勇也

★上記の方々にはサロンの連絡を中止します（2010 年度も会員ではなかったこととなります）

◆2011 年度の活動方針について

- ・引き続き「育成期の指導」をメインテーマとし、特に「指導者」をめぐるトピックを取り上げる
- ・東日本大震災の復興支援にからめながら、「ゆたかなくらし」の前提として、「当たり前のありがたさ」について考え、情報交換を進める。具体的な行動を起こすのは一人ひとりの会員だが、「元気プロジェクト」のように、このネットワークを生かして展開できることがあれば積極的に取り組む。

◆月例会・関西サロン・出張サロンの位置づけ

- ・関西サロンを、年 4～5 回開催の方向で実施する。
- ・9 月 18 日（日）に、大分県サッカー協会主催の「フットボールカンファレンス大分（仮称）」にからめて「サロン in 大分」を開催する。
- ・月例会で「ラグビー」のことを取り上げる。
- ・公開シンポジウムは、本年度も全日本大学サッカー連盟と連携しながら、デンソーカップと絡めて開催したい（テーマは「育成期の指導（第 2 弾）」で、特に指導者問題を取り上げたい）。

◆旅費について

- ・これまで「上限 3 万円」としていたサロンの旅費について、交通費は実費で、宿泊費は 1 泊につき 8,000 円を請求できるよう改めた。請求書の書式は JFA のものをもとに作成。
請求できるのはこれまで通り、何らかの任務を帯びた会員のみである（「サロン in 岡山」のケース参照）。

参考：「サロン in 岡山」での請求方法

- ①旅行日、②経路、③用務、④用務地、⑤支給額、⑥振込先、を本人が申請、理事会で審議の上で支給することとした。他の事業についても同様。
- ・近地主張の場合、同一地域内（たとえば東京開催の場合は関東地域）の移動には旅費は発生しない。

< 議 題 >

○はじめに

中塚：2011 年度の総会を始めたいと思います。2011 年の会員数 169 名のうち、本日参加の意思を表明された安藤さんを含めて 9 名が出席、欠席連絡者のうち 103 名から委任状提出があり、本日の総会は成立します。

まずはじめに、参加者の方から簡単に自己紹介をお願いします。(各自、自己紹介)

○報告事項

I. 2010 年度事業報告及び決算 (本来は 2010 年度末の総会で審議済だが、最終版=監査済みのものを報告した。なお「2010 年度公開シンポジウム報告書」は、2011 年度事業として扱う)

中塚：平成 22 年度収支決算書案のなかの会費受入については、作成後に梶田さん、多田さん、中曾さんから振込みがあり、会費未納は 10 名となっています。また監査結果報告には「平成 21 年度の事業は適正に運営されている」と書かれていますが、これは 22 年の誤りです。

II. 2011 年度会員募集について (会費納入も含めた現状報告)

1. 募集期間・方法

3 月 22 日 (火) ~ 4 月 22 日 (金) を 2011 年度会員募集期間とした (その後 4 月 29 日まで延長)。

「会員募集用」アドレスに送信してもらうシステムを導入したが、関係者 (名簿担当・ML 担当・理事長) への配信がうまくいかず、確認作業に難航している。

印刷業者に原稿を渡すまで、受け付け可能。それ以降は、冊子には反映されない。

2. 現状

1) 2010 年度会員 (148 名) で退会の意思を表示されたのは、次の 3 名

4/19 名波涼子、宮阪麻耶、4/26 嗟峨寿

(2009 年度は 4 名、2008 年度は 6 名、2007 年度は 3 名、2006 年度は 2 名、2005 年度は 8 名)

2) 新規入会希望は 24 名 (2010 年度は 12 名)

3/20 上野直彦	3/24 森政憲	3/31 吉澤正悟	4/1 佐藤真成	4/1 中川英治	4/4 安田英文	4/5 オ
スカル草葉	4/6 河本雅彦	4/9 持永浩史	4/11 佐藤英男	4/14 伊田翔平	4/16 玉井茂	
4/17 鈴木康司	4/20 関貴光	4/21 久保英明	4/21 Ben MABELEY (ベン・メイブリー)	4/22		
河野博文	4/22 森元俊太郎	4/27 武藤豊	4/29 原野千佳	5/2 白髭隆幸	5/5 木村彰男	
5/5 秋山裕輔	5/6 喜田充					

参考：2011 年 5 月 4 日時点での“2010 年度”会費未納者=2010 年度未会員 (2011 年度退会確定) 10 名
石田まどか、伊藤洋次郎、今泉龍太、北岡真幸、齋藤律、庄田守男、杉沢幹生、藤岡知彦、水上博司、割出勇也

注) 4/10 時点で 2010 年度会費未納としてリストアップされていた次の方々の入金は確認された。

梶田孝史 (4/18)、多田寛 (5/1)、中曾千鶴子 (4/22)

3) よって2011年度会員は、 $148 - 3 + 24 = 169$ 名

2010年度会員で継続の意思表示をしたのは76名 (8名は名簿原稿更新なし)。72名からは連絡がなかった (2007年度末57名。2008年度末59名。2009年度末は66名)。退会の意思表示がないので継続。

3. ディスカッション

中塚：2010年度会員 (148名) で退会の意思を表示されたのは3名。女性会員の拡大については以前から議論されていますが、残念ながら女性の退会者もありました。新規入会希望は24名と例年になくない大きな数になっています。5月5日入会の木村さんは、サロンの名簿や公開シンポジウム報告書などを手掛けてくださっている印刷会社の方です。今回は関西の入会者が多いようです。

本多：関西からの新規入会者は資料で確認すると7名のようです。

中塚：ベン・メイブリーさんという、初のヨーロッパ出身の会員も見られます。

本多：オックスフォードで日本のサッカーの研究をして、現在は大阪在住のライター、翻訳家です。ガンバとユナイテッドの熱烈なファンで、関西サロンでは常連になっています。

武藤：これだけの人数からの会費を集めて、繰越金も出しているのはすばらしい。

中塚：野田さんから休会願いの連絡がありましたが、サロンには休会はない、ということをご説明しています (以下、メールのやり取り参照)。“2010年度”の会費未納者10名は、2011年の名簿にはもちろん掲載されず、「2010年度も会員ではなかった」こととなります。

<参考：「休会」の問い合わせ>

2011.5.1. Re: サロン理事会報告&5/8 総会出欠【必ずこの書式で連絡を！】 (中塚)

中塚さん

野田です。大変ご無沙汰してます。(中略) 今後しばらく (数年?)、上海の仕事が続きそうですので、一旦休会しようかと思えます。休会の手続きなど、どうすればいいでしょうか?

休会期間、どんな扱いになりますか? (メールは来る、名簿は来ないとか)

2011.5.3. (中塚義実)

野田殿

サロンは、「退会の意思表示をしない限り会員」です。「休会」というのはありません。

名簿原稿を提出の上、会費を払えば更新です。名簿に変更がない場合、会費納入のみで更新です。

更新されれば、通信は来るしMLのやりとりも可、名簿や公開シンポジウムの冊子も送られてきます。退会することはないのではないのでしょうか。

上海から時々、ML等で様子を伝えてもらえれば素晴らしいと思いますが。

Ⅲ. 理事会 (2011/4/10~4/17) 報告 (別紙資料参照)

1. 2010年度の総括

2. 2011年度の準備

中塚：会費未納者問題についての理事会での議論を確認しておき (以下のとおり)。

(「もっとよい方法」はないかと若干意見交換したが、名案は出なかったの、従来通りとする。

◆会費未納者問題について (110430理事会報告より)

「そもそも入会が確認できていないのに会員扱いしたことに問題はありませんか？ サロン2002への思いがない人は外せばいいでしょう。何度も催促しても払わないと言う人はそういう人です(たった3,000円ですよ)。入金できた時点からの途中入会扱いにすべきと思います。そうしないとちゃんとお金を払って手続きしている会員に対して示しがつかないのでは？」との指摘があった。

この件は毎年話題に上っていることであり、2009年度末総会での規約改定は、「会費を払った者が会員」であるとの考えをより明確化したものである。

しかし、「志」に共鳴するサロン2002のネットワークはどんどん広げていきたい(退会者を減らしていきたい)との方向性があり、「うっかりミスは誰にでもある」「会費未納によりサロンの連絡が届かなくなると督促もできなくなる」ということから、会費受け入れは年度末まで留保していた。

基本的には今後もこの方針で進めていきたい。

もっとよい方法があればご提案いただき、総会で議論したい。

○審議事項

議題 I. 事業計画及び予算に関する事項 (2011年度)

1. 2011年度の活動方針

—スローガンorメインテーマをどうするか/東日本大震災に関連して何ができるか？

中塚: 大きな柱としては、昨年度に引き続き、育成期、特に指導者について継続して扱っていきたいと思います。その上で、東日本大震災の復興支援に関して、サロン2002で何かできないか、ご意見をいただきたい。4月の関西サロンでは日本サッカー協会を通して寄付を行っているようです。

本多: 関西サロンでは「サッカーのチカラ」という電子出版の執筆者がスピーカーになって、参加費とオークションの売り上げを寄付しました。通常の1万円の演者謝金も寄付しました。「サッカー・スポーツを通して21世紀の“ゆたかなくらしづくり”を目指す」というサロンの“志”がありますが、改めて“ゆたかなくらし”を考える機会だと思います。

中塚: メールにも書きましたが、普通にボールを蹴ることのできるありがたみを考えていきたいですね。たとえば、「あたりまえのありがたみ」というようなスローガンを掲げて。

サロンの強みは、全国に広がるネットワークです。これを用いて、現地の情報を他地域に配信したり、人と人をつなげて行ったり、情報交換しながら、その時々でできることを形にしていきましょう。先は長い。関西の宮川さんが中心になって進めてくれた「元気プロジェクト」に続くプロジェクトを、考え、進めていければと思います。

月例会でも何度か取り上げていしましょう。

2. 月例会・公開シンポジウム・関西サロン・出張サロンなど

中塚: いつ頃、何ができるか、見通しを立てておきたいと思います。ちょうどいま、東北でボランティア活動を行っている、サロン運営委員の岸くんが、6月の月例会で被災地の状況やボランティア活動について話題提供してくれます。彼は青年海外協力隊でケニアに行くので、あわせて報告してもらいます。岸くんが担っていた会計・名簿担当の仕事は、運営委員の室田くんが引き継いでくれます。

笹原：今年はコパアメリカがありますね。現地で観戦予定です。

金子：女子ワールドカップ、ラグビーワールドカップもありますね。

中塚：ラグビーの話題は何度か取り上げましょう。本年度から理事になられた嶋崎さんへの期待大です。

宮明：1月のJFAフットボールカンファレンスの後、大分独自にカンファレンスをやりたいという話を持ちあがり、9月18日（日）で準備を進めています。大分サッカー宣言、JFAの基調講演、パネルディスカッション、そして午後から分科会です。サロン2002にも共催または協力として参加してもらい、中塚さんにもご登壇いただきたいと思います。私も大分サッカーの歴史、大分出身の竹腰重丸さんについて発表する予定です。

笹原：関西サロンに対して、今回は大分県ですね。九州の他県との連携はありませんか？

金子：大分以外からも参加者がありそうですね。

笹原：韓国にも近いので、韓国との関係で何かできないでしょうか。

本多：これが大分サロン、あるいは九州サロンの定例化のきっかけになればいいですね。

中塚：公開シンポジウムでは、昨年度に引き続き育成期の問題を、特に指導者の観点から取り上げたいと考えています。そのテーマだと、昨年度に引き続き全日本学連と共催で進めるとよいかもしれません。検討中です。ということで、現段階での予定は次のとおりです。

<2011年度 サロン2002の事業概要>

首都圏（於筑波大学附属高校）	関西サロン・出張サロンほか
4月 4/20指導者海外研修報告（伊藤慧）	4/26サッカーのチカラ（関西）
5月 5/8総会	5/25チャリティ映画上映会（関西）
6月 6/9ボランティア活動&青年海外協力隊（岸卓巨）	（関西では4～5回開催予定）
7月 月例会	
8月 月例会	
9月 月例会	9/18サロンin大分
10月 月例会	
11月 月例会	
12月 お宝映像上映会兼忘年会	
1月 月例会	
2月 月例会	
3月 公開シンポジウム	

3. 組織－運営委員の配置

中塚：先ほども触れたように、岸くん、室田くんが会計・名簿担当です。活動が活発になってきた関西では宮川さんが運営委員ですが、追加を検討しており、高原さんをお願いしようと思います。

注) 総会終了後に高原渉氏に打診した。また宮川氏から赤尾修氏の推薦があり打診した。いずれも快くOKの返事をいただいた。なお、年度途中であっても運営委員の増員はあり得る。

1) 理事の役割

2011～2012 年度理事会の役割を以下のように決定した。

<理事会役割分担>

中塚義実 … 理事長 : 総括
本多克己 … 副理事長 : 広報・ホームページ管理
田中俊也 … 理事 : 広報・ホームページ監査
高田敏志 … 理事 : 企画・公開シンポジウム
嶋崎雅規 … 理事 : 企画・月例会
宮明 透 … 理事 : 企画・出張サロン

2) 運営委員の選任

- 一 会計担当 … 岸卓巨・室田真人 → 6月まで岸氏。その後引き継ぐ。
- 二 名簿担当 … 岸卓巨・室田真人 → 6月まで岸氏。その後引き継ぐ (2011 年度名簿は岸氏)
- 三 メーリングリスト担当 … 熊谷建志
- 四 ホームページ担当 … 本年度は置かない (理事が担う)
- 五 月例会の運営その他の事業担当 … 宮川淑人、高原渉、赤尾修

4. ネットワークーホームページ運営、メーリングリスト、他団体との連携

1) ホームページ運営

中塚:「ホームページはボランティアでなく、きちんと費用を払って運営するべき、そうしないと文句を言える立場にない」、との意見が理事会で出ていました。

本多: 現状では、トップページにバナーを掲載して、それとバーターで運営をすることになっているので、ボランティアではなく、文句は言っただけの状況です。リンク先の誤りなどいくつかミスがありました。こちらの単純なミスなので、今後さらに気を引き締めて、体制を見直していきます。

金子: ホームページはサロンの情報発信源で大事です。月5,000円でも予算があれば支払ったほうが良いと思います。

中塚: トップページの写真もそろそろ変更できないでしょうか。

本多: 宇都宮さんから提供いただいたものを使っているのですが、2006年のドイツの写真ですので、南アフリカの写真など、相談してみます。

中塚: 理事の役割で「広報: ホームページ監査」を田中俊也さんをお願いしています。田中さんにもすっかり目を光らせてもらいつつ、「広報: ホームページ運営」の本多さんには引き続き、サロンのホームページ運営をよろしくお願ひします。

2) 他団体との連携

中塚: 3月に、全日本学連との連携でシンポジウムを開催することができ、サロン史上最高の動員にな

りました。今年も育成がテーマであることもあり、学連とのタイアップを考えてみたいと思います。

本多：デンソーカップは会場持ち回りで開催しているようなので、開催地次第ではないでしょうか。

中塚：連携先としてはこのほか、本日出席されている白井さんが事務局長をつとめるスポーツ法学会との可能性もあると思いますが、いかがでしょうか。

白井：国体のあり方などが対象として考えられます。

中塚：また、今年の日体協が創立100周年で、記念行事がいくつか予定されています。サロン会員で関わっている方も多いので、何かからむチャンスがあればやっていきたいと思います。

5. 事業計画および予算

中塚：ここまでの議論で出てきたさまざまな事業案を踏まえ、予算を詰めていきたいと思います。

1) 旅費について

中塚：旅費はこれまで「上限3万円」という規定でやっていました。議論の経緯は資料にあるとおりです。しかしたとえば大分から東京まで往復だと、パックを使っても4万円かかります。サロンの任務を遂行するためにかかった費用について、実費程度は支払うべきではないかとの意見が、会計担当をはじめ複数から出ています。いかがでしょうか。

(具体的な金額、安価な宿泊パック、それぞれの勤務先などでの規定について意見あり)

白井：たとえば、横浜や埼玉のような近隣からの交通費については支払いなしでいいと思います。

中塚：では今後は、サロンの“旅費”については実費を支払うことにしたいと思います。JFA で使用しているフォームを利用して申請してもらうようにします。なお宿泊費が別途かかる場合は、1泊8,000円で計算します。

今回は理事会ではありませんが、宮明さん、本多さんには、遠方より、理事としてこの会に参加していただいていますので、支払い対象となります。追って申請用紙をお送りします。

2) 2011 (平成 23) 年度予算案

中塚：支出項目「3. 事務費」の中で「諸謝金」が10,000円計上されていますが、ここ数年使われていません。ここをカットして、「旅費」に加えます。それ以外は原案通り。よろしいでしょうか？

→ 承認 (添付ファイル参照)

議題Ⅱ. 規約の改廃

→ 特になし

議題Ⅲ. その他

中塚：室田くんが会計・名簿担当となりますが、年度初めに集中して作業が発生するので、もう少し増員できればと思います。

武藤：現状でも会員の数には驚かされるが、拡大方向にあるので、今後さらに会員が増えれば会費収入も大きくなり、活動も拡大されていくのではないのでしょうか。

白井：名簿の作業が大変になりそうですね。この個人情報満載の名簿は時代に逆行していますが、それがいいところだと思います。

以上

<参考：“旅費”に関するこれまでの議論>

■「出張サロン」の経費負担についての問い合わせの回答

2008.6.24. (中塚義実)

宇都宮様

CCサロン役員各位

CC土谷様

「出張サロンの経費は、受け入れ側またはサロン2002が一部負担します」の件です。

これまでも「出張サロン」にはさまざまな形態がありました。初回(1997年夏にJヴィレッジへ出かけたのは「合宿」です)と位置づけられる1998年12月の鹿島にはじまり、これまで行われた「出張サロン」は、基本的にはすべて参加者の自己負担で開かれています。会場費、発表者謝金は、通常の月例会同様、「参加費1,000円」から拠出する形が基本です(つまりこれまでの「出張サロン」では、参加費を徴収するものがほとんどでした)。

ただし、2001年度の神戸は、兵庫県サッカー協会のセミナーとして開催され、演者である中塚には交通費と謝金が、兵庫県サッカー協会から支払われました。また、刈谷、清水、大分の場合は、地元サッカー協会との共同開催で、施設使用料は地元が負担してくれました。

その会の位置づけによって、さまざまなケースがあるということです。

1999年度...新潟・掛川
2000年度...新潟
2001年度...清水・神戸
2002年度...刈谷・(神戸=シンポジウム)
2003年度...大分・(両国)
2004年度...伊香保・成岩
2005年度...名古屋
2006年度...フランクフルト
6月21日：パブリックビューイング堪能
6月23日：スポーツクラブ訪問 (TGボーンハイム1860)
2007年度...高知

一方、サロンとしても、「出張サロン」に参加しやすくする意図で、「サロンとして何らかの業務を依頼する方には旅費を出していく方向で進めていきたい」(2008年度理事会報告)としています。3月末の「サロンin高知」のときは、暫定的ではありますが次のような形でアナウンスしました(申請された方はいませんでした)

- 1) 「出張サロン in 高知」に参加する高知県以外の会員1名につき、上限3万円の旅費を用意する
- 2) 旅費の受給を希望する参加者は、3月28日(セミナー前日)までに理事長に申し出る。その場合は、何らかの任務(報告書作成など)を負うものとする。

今回の金沢、岡山の場合、むしろこちらから依頼して始まっている話なので、先方に経費負担をお願い

いするのは筋違いです。ただし地元にもメリットはあると思うので、会場費を負担していただくなど、調整の中でベストのところを見出せばよいと思います。

参加しやすさを考えると、参加費は無料とし、演者謝金と報告書作成費はサロンの全体会計から拠出するのでよいかと思えます。

とりあえずの回答でしたが、ご意見等あれば、この役員MLに投稿してください（もしくは全体のMLでも展開してよいかも…。必要であれば中塚から投げかけます）

■「出張サロン」等における旅費の扱いについて（報告・審議）

（2008年度末 サロン2002理事会報告（090311）より）

「出張サロン」等における旅費は予算化されているが、運用のためのルール化が為されていない。基準は、2008年3月に行われた「サロン in 高知」の際の考え方が基本となっている。

＜「サロン in 高知」における基本的な考え方＞

- 1) 「出張サロン in 高知」に参加する高知県以外の会員1名につき、上限3万円の旅費を用意する
- 2) 旅費の受給を希望する参加者は、3月28日（セミナー前日）までに理事長に申し出る。その場合は、何らかの任務（報告書作成など）を負うものとする。

これをもとに「サロン in 岡山」においては、①旅行日、②経路、③用務、④用務地、⑤支給額、⑥振込先、を本人が申請、理事会で審議の上で支給することとした。他の事業についても同様である。

いつ、誰が、何に基づいて判断するのかについては、引き続き検討したい。

◆サロン in 岡山（2008年7月25日）

参加した3名は、いずれも任務を負っていたので支払い対象とする。合計78,850円。

○中塚義実：東京～岡山（往復）

用務：サロン in 岡山コーディネーターとして

支給額：30,000円（上限額）

○宇都宮徹壺：東京～岡山（往復）

用務：サロン in 岡山シンポジストとして

支給額：30,000円（上限額）

○高原渉：大阪～岡山（往復）

用務：サロン in 岡山会員代表及び記録担当として

支給額：18,850円（内訳は略）

◆サロン in 金沢（2009年1月18日）

参加者のうち、用務を担っていた土谷享・中塚義実（ともにシンポジスト）は、主催者である金沢21世紀美術館から旅費を受けたので、サロンからの支払いはなし。

◆公開シンポジウム（2009年1月31日）

演者の一人である宮明透は支払い対象とする。他の演者はいずれも近隣地なので対象外。

○宮明透：大分～東京（往復）

用務：公開シンポジウムのシンポジストとして

支給額：30,000円（上限額）

◆サロン in 那智勝浦

現時点で未定